

準天頂衛星を活用した最近のプロジェクト例(防災)

「衛星安否確認サービス」の避難所での利用を想定し、訓練参加者の安否情報や避難所の情報を収集して通信する、**全国で初めての**実証実験

- 実施日：平成28年7月3日(日) 10時～12時
- 場所：海南市立 塩津小学校 (和歌山県 海南市 下津町塩津)
- 体制：塩津防災会、QSS 協力：和歌山県、海南市
- 参加者：二次避難所 避難者 94名 (住民54名 災隊要員40名)

安否情報の収集



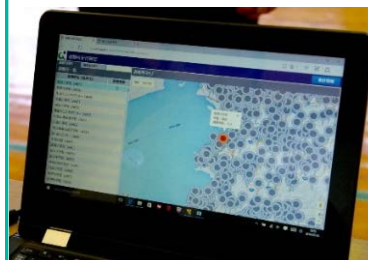
避難者は各自の安否情報を入力必要に応じてスタッフがサポート

避難所情報の集計・送信



集計された避難所情報を外部サーバーに送信

避難所情報の確認



Webサイトで送信した避難所情報を確認

報道

【テレビ】2社 NHK和歌山、毎日放送
 【新聞・全国】4社 読売、毎日、産経、朝日
 【新聞・地方】2社 和歌山新報、紀伊民報

今回の訓練

7/3 津波避難訓練 (システムの利用検証)

- ・避難者による利用性や操作性の検証
- ・運用面における課題整理
- ・住民参加による検証(小規模) 避難所1～数か所 検証結果を11月の訓練に反映

11/4,5,6

津波避難訓練(大規模実証実験)

- ・11/5世界津波の日に合わせて実施
- ・大規模運用による課題整理
- ・住民参加による検証(大規模) 2～5市町村(5～10箇所)で調整
- ・災害・危機管理通報の実験も実施

